



東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート

# スポーツ祭東京 2013

第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会

9月29日(日)  
30日(月)



小平市民総合体育館にてバレーボール競技(成年女子)を開催します。(2階観覧席は入場整理券が必要です。)

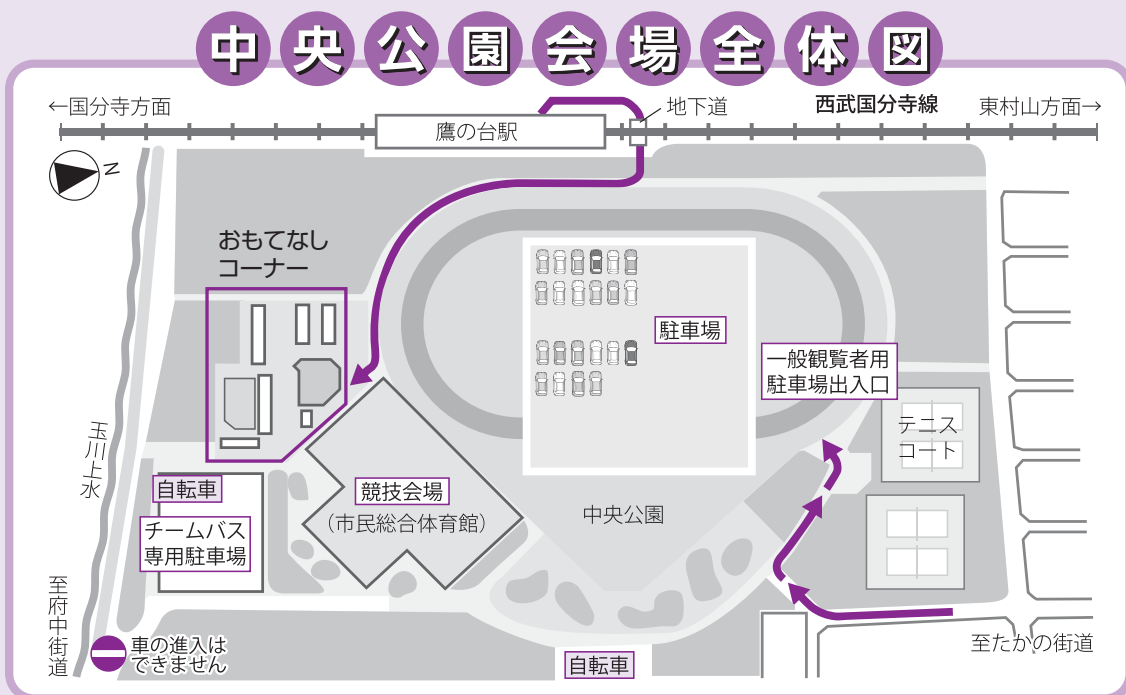
	9月29日(日) 午前8時開場 午前9時開始式	
	入場整理券配布	試合開始
第1試合	—	午前10時
第2試合	午前9時30分から	正午
第3試合	午前10時30分から	午後2時
第4試合	午前11時30分から	午後4時
	9月30日(月) 午前10時開場	
	入場整理券配布	試合開始
準々決勝 第1試合	—	午前11時
〃 第2試合	午前11時30分から	午後1時
5・7位決定戦	午後2時30分から	午後3時30分

※1 試合日は、開場予定時間から整列順に入場できます。  
※試合の状況によって時間変更する場合があります。  
※3・4位決定戦、準決勝、決勝は羽村市スポーツセンターで行われます。

**学校観戦を行います**  
学校観戦とは、国体競技を小学校の児童に観てもらうものです。郷土の期待を背負い、懸命に戦う都道府県代表のチームの姿を観戦することで、目標に向かって一生懸命頑張ることや、チームワークの大切さを感じ取れる貴重な機会となります。

**小・中学生によるおもてなしが進められています**  
大会開催にあたり、市内の市立小・中学校の児童・生徒のみなさんに、応援のぼり旗の作成と花の育成を行っていただきました。大会当日に全国から訪れる選手・来場者のみなさんをおもてなしするため、会場に裝飾します。

**中央公園会場全体図**  
会場は中央公園にあり、西武国分寺線鷹の台駅と至るかの街道が近接しています。おもてなしコーナー、競技会場(市民総合体育館)、駐車場、テニスコート、自転車専用駐車場が整備されています。



※駐車台数には限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

### 小・中学生が広島平和記念式典に出席しました

8月5日(月)から6日(火)の1泊2日で「小・中学生広島平和学習」を実施しました。市内の小中学生4人・中学生6人が、実際に広島を訪問して原爆ドーム等を見学したり、平和記念式典に出席することで、戦争の悲惨さ、平和の意義について考えてきました。8月17日(土)には、被爆体験者が体験談を語る「語り部」のあとに、参加者の前で子どもたちが一人ずつ報告を行いました。(生涯学習推進課)



**1日校長先生がやってきた! (バレーボール教室)**  
バレーボール全日本代表として活躍した山本隆弘さんが7月13日(土)に花小金井南中学校の「1日校長先生」に就任しました。山本さんは、校長室で市長、教育長と面会した後、体育館で3年生および特別支援学級の体育授業を行いました。生徒は、体を動かすことの楽しさや目標をもって物事に取り組むことの大切さを学びました。(指導課)

**屋外おもてなしコーナーで「食べる」・「見る」・「買う」ができます!**  
当日は、中央公園ジャブジャブ池周辺に「おもてなしコーナー」を設けます。このコーナーでは、昨年行われた小平グルメコンテストの上位3店舗による食品の無料ふるまいコーナーや、焼きそば、たこ焼き等を販売する飲食ブースを設けます。また、大型スクリーンでのバレーボール競技中継や、国体グッズの販売も出店します。(体育課)

**食物アレルギー研修会を実施しました**  
昨年12月、調布市立小学校で食物アレルギーのある児童がアナフィラキシーショックの疑いで亡くなる事故がありました。小平市では、アレルギー対応をした給食の食器の色を変えるなど、事故防止に努めています。学校関係者と教育委員会が、食物アレルギーに関する知識と共通認識を深めるため、研修会を開催しました。6月25日(火)に中央公民館ホールで、「学校における食物アレルギー児への対応」と題した講演会を行い、当日は、市立小・中学校の校長、副校長、養護教諭、栄養士、教育委員会の職員など80人が参加しました。講演会では、公立昭和病院小児科医師で、日本アレルギー学会に所属する大場邦弘先生から、食物アレルギーの基礎知識と、アナフィラキシー症状を起こした場合の対応について、説明していただきました。第2部では、参加者全員がエピペン(アドレナリン自己注射薬)の練習用機器を使って、使用の体験をしました。教育委員会では、今後も、食物アレルギーに関する取組を継続していき、食物アレルギーのある子どもたちへの適切な対応を徹底してまいります。

**教育功労者表彰**  
教育委員会では、市の教育・文化発展に貢献された個人・団体を表彰しています。6月20日(木)に、市役所で表彰式が行われ、次の方々に感謝状が贈呈されました。  
▽退職者(敬称略)  
吉富泉(四小校長)、若林彰(前六小校長)、松村惇(前五小校長)、奥山文子(前七小副校長)、伊藤規子、田中勝男、鈴木由美子(前図書館協議会委員)、篠木綱文(前学校歯科医)、望月雅子、辻あけみ、新井恵里(前学校薬剤師)、嶋貫博、森田健次、荒木由季(前学校経営協議会委員)、内野一男、竹内弘信、宮崎庄一、吉井祐子、山後マリ子、奥野富久子、茂木豊子、石井唯夫、井口典子、石澤千恵子、藤沼和子(前学校経営協力者)  
(教育庶務課)

今年で35回目を迎える小平町との交歓交流事業で、小平市の小学生18人が北海道小平町を訪れました。子どもたちは、化石発掘体験や旧花田家番屋の見学等を通じて交流し、たくさんのお土産を作りました。初日から3日目まで、教育委員会伊藤委員長、森井委員長職務代理者、関口教育長も訪問しました。



8/5・8/9姉妹都市 小平町との少女交歓交流事業